

その他取り組みの説明資料

2023/8/27 国際塾第8回 講義録

“外国人とともに暮らす社会へ”～多文化共生社会について考える～

第1部 <基調講演>

① 張 恩實(チャンウンシル)さん(韓国出身、韓国語教師)

・海外経験～最初にタイへ(英語を学ぶ)

・ワーキングホリデービザでカナダへ

・第二外国語はドイツ語

・カナダで日本人と親しくなる

・日本人の彼の家に滞在

■日本文化との違いにとまどうこと

・日本のお風呂の入り方で悩む

・どちらがシャンプー、リンス?

・お湯に入るべきか否か?

■日本語の勉強

・ひらがなを覚えて外出したが、ほとんど役に立たず

・漢字、カタカナ、英語の表記が多い

・韓国語はハングル文字だけでOK

■日本に住んで困ること

・学校日より

・子どもの成長とともに学ぶ

・手提げ袋(自分の手作り)

・誕生日の祝い方

・卒業式の服装(明るい服か? 黒い服か?)

・暗黙のルールが多くとまどうことばかり

・ランドセル(重くて高価、6年間使う?)

・PTAの集まり(何をしたいかわからない)

・学校で部活に精力投入?(韓国は勉強ひとすじ)

■韓国についてのクイズ

・ハングル文字をつくったのは昔の王様? 世宗大王

・日本のワーキングホリデービザで何か国行ける? 31か国

・日本人のパスポート保有率は? 17%

・韓国人のパスポート保有率は? 52%

・韓国の国土は日本と同じ大きさ? 3.7倍

・日本人と韓国人の夫婦から生まれた子どもの国籍は?

② 中島正恵さん(岡山外語学院日本語教師)

「やさしい日本語」で「やさしい世界」を!

■岡山外語学院～25か国400名以上の学生日本語を学ぶ

・大学生などをめざす留学生

・定住者や日本人の配偶者など

■日本に住んでいる外国人が話す言葉は?

・英語 44%、中国語 38%、日本語 63%

■「やさしい日本語」ならどのくらいわかる?

・日常生活に困らない程度以上の会話力 82%

■どんなサポートがあればいい?

・やさしい日本語 76%

・英語 68%

■ノンバーバルコミュニケーション(非言語的コミュニケーション)

言葉以外で伝えることが大事

・写真、絵、実物、声の調子、色、図式、記号、表情
ジェスチャー、声色など

■バーバルコミュニケーション(言語的コミュニケーション)

・ことばで伝える＝やさしい日本語

■やさしい日本語の由来

・1995年、阪神大震災での体験から始まる

・外国人被災者への大事な情報が伝わらない

・容器をご持参の上、中央公園にご参集ください。⇒×

・入れるものを持って、中央公園へ来てください。⇒○

■やさしい日本語の考え方

・伝えたい内容に直接関係ないことは引く

・「日本の常識」を前提としていることは足す

・「知っているはず! 分かるだろう! 伝わっている!」⇒×

・「知らないかもしれない? 分からないかもしれない? 伝わっていないかもしれない?」

・給食費徴収のこと(給食の意味から説明する必要あり)

・「盛夏の候…」慣用句はカットする?

・学校日より(やさしい日本語を裏面に)

■たいせつなこと

① ルール通りに翻訳しても伝わらないことがある。

② 人に合わせていろいろ変える努力が必要。

③ 相手の気持ちをよく考える。

※「やさしい日本語」は無敵の言葉ではありません。

■早稲田式はさみの法則

・はっきりいう

・さいごまでいう

・みじかくいう

・わけていう

・せいりしていう

・だいたんにいう

■日本人1億2千万、総「やさしい日本語」Speakerをめざして!!

③田口順一さん(行政書士)

「外国人が日本で暮らしていくために必要なこと」

■プロフィール

- ・グラスルーツ行政書士事務所代表
- ・岡山県行政書士会(理事、国際部部长)
- ・INE(居場所づくりネットワーク)

■仕事の内容

- ・外国人ビザ(在留資格)申請、帰化申請
- ・外国人が日本に来るために必要なものは？
日本で生活するために必要なものは？

■パスポート(旅券)

- ・国際旅行用の公式な身分証明書
本人の国籍のある政府が発行する。

■ビザ(査証)

- ・「在留するための許可証を得るための推薦状」
外務省管轄の日本大使館や領事館で発行。

■在留資格

- ・「日本に在留するための活動内容許可証」
法務省が発行。入国時にビザに記載された日本での滞在理由に
限定した在留資格が与えられて入国が許可される。
在留資格は29種類あり、許可内容が記載された「在留カード」が
発行される。
外国人が3ヶ月以上日本に在留する場合は必ず「在留カード」が必
要。

■在留資格の種類<29種類>

- ・就労系在留資格(許可された資格でのみ就労可能)
外交、公用、教授、芸術、宗教、報道、高度専門職、経営管理、
法律会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、
企業内転勤、介護、芸能、技能、特定技能、技能実習
- ・身分系在留資格(就労制限なし)～永住者、日本人配偶者など
- ・「資格外活動許可」を受けた場合、一定の範囲内で就労が可能
観光客など短期滞在、留学、研修、家族滞在など

■在留外国人の人口推移

- ・約307万人(2022年12月現在)

■岡山県内の在留外国人の現状

- ・3.2万人
- ・ベトナム、中国、韓国、フィリピン、インドネシア、ブラジル
- ・技能実習、永住者、特別永住者、留学、技入国

■外国人1割時代の到来

- ・日本の人口は2070年に8700万人に
そのうち1000万人は外国人に
- ・人口の40～50%が外国人という都市や地域が出てくる

■外国人の困りごとやトラブル

◎暮らしに困っていること

- ・日本語の不自由さ(24.7%)
- ・仕事探し(16.7%)
- ・病院・診察所に外国語のできる人がいない(14.4%)
- ・税金(14.1%)
- ・外国語の通じる病院・診察所の探し方(13.6%)
- ・災害時・緊急時の対応(13%)
- ・自分または家族の健康(11.2%)
- ・病院・診察所を受信する時の通訳がみつからない(10.6%)
- ・出産・育児、子供の教育(10%)
- ・年金(9.6%)

◎トラブルになりやすいこと

- ・ゴミ出しルール
- ・騒音(夜騒ぐ)
- ・食事(ベジタリアン・イスラム教の方:豚・アルコール NG)

■留意点、心がけること

言葉と習慣など理解し合うことが大切
まずは接点を持つこと、話をしてみることに

④INEの活動について～

RNC news【たねをまこう】外国人との共生目指して
2023/05/16 放送 YouTube

第2部 ワークショップ

～日本にいて、住みにくいと感じたことはありますか？～

■参加者と外国の方とのディスカッション

<アドバイザーとして参加いただいた方>

- ① 張 恩實(チャン・ウンシル)さん(韓国語教師)
娘さん、そら(中学生)・るな(小学生)
- ② ハスネット・ナバラジさん
(ネパール)国際協力研究所岡山副代表
- ③ Mariia Leniuk さん(ウクライナ留学生)ほか
- ④ 岸本ロベルさん(フィリピン)
- ⑤ アンニサ・アウリアさん(インドネシア・林原研究員)
- ⑥ 尹 甲辰(ユン・カヒプチン)さん
(韓国)(法廷通訳・韓国語講師)
- ⑦ 古山 誠さん
(県教育庁高校教育課オンライン国際交流コーディネーター)

※塾生29人、世話人他 25人が参加

以上